

Artists&AIR 参加アーティスト & アーティスト・イン・レジデンス

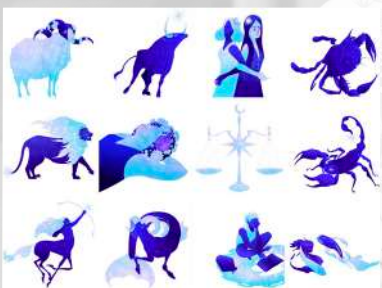
今年は、6つの国と地域からアーティストが原泉での滞在制作に参加。原泉で彼らが感じた世界を体感するチャンス！



井口貴夫・Takao Iguchi

1959年静岡県沼津市生まれ。屋内・外のさまざまな場所でインスタレーション作品を展開している。空間における「こちら側／向こう側」平面における「表／裏」(両面性)が最近のテーマ。

Born in Numazu City, Shizuoka Prefecture in 1959. He has been developing installations in various indoor and outdoor locations. His recent themes are "this side/the other side" in space and "front/back" (two-sidedness) in two-dimensional space.



モス・バスティール・Moss Bastille

ニューヨーク出身のイラストレーター、グラフィックデザイナー、マルチメディア・アーティスト。神話、自然、社会問題、人間の経験といったテーマからインスピレーションを受けて作品を制作することが多く、重要な問題への関心を高めながら好奇心を刺激することを目指している。

Moss Bastille is an illustrator, graphic designer, and multimedia artist from New York. His work is often inspired by themes from mythology, nature, social issues, and human experience; his goal is to raise awareness for important issues and encourage curiosity.



ファビアン・ハマル・Fabian Hammerl

ハンブルクを拠点に活動するアーティスト/写真家。ドキュメンタリーとフィクションの間にある物語に焦点を当て、写真を使用し、時にはフィルム、サウンド、言葉を織り混ぜる。様々な国で作品が展示されており、アーティスト・イン・レジデンスに参加し、国際的なプロジェクトをキュレーションしている。

Fabian is a Hamburg based artist/photographer. In his work he focuses on narratives nestled between documentary and fiction, using photography, occasionally admixing film, sound and words. His work has been exhibited internationally. He is participating in artist residencies, and is curating international projects.



山本拓人・Takuto Yamamoto

民俗学研究者。民俗行事の準備段階から一連の流れに地域と深く関わりながら語りやモノを収集。空間を作品として表現し、民俗学の視点から現代社会の様相を照らし出す。

As a folklore researcher, Takuto collects narratives and objects while deeply involved with the local community from the preparatory stage of folk events to the series of events. Expressing the space as a work of art, he illuminates aspects of contemporary society from the perspective of folklore.



松島誠・Makoto Matsushima

沼津市生まれのパフォーマー、演出家、美術家。元ババ・タラフマラメンバー。ソロ、グループ活動を通して個の身体の在り方と世界の繋がりを探求し続けている。国内外の芸術大学／芸術機関で教鞭をとる。

Performer, director, and artist born in Numazu, Japan. Former member of Papa Tarahumara. Through his solo and group activities, he continues to explore the connection between the state of the individual body and the world. Teaches at art universities and institutes in Japan and abroad.



松島誠 × イマ・コラボ・Makoto Matsushima × Ima Collab

2022年に演出家チャン・チュウヘイによって中国・香港を拠点に設立。Ima Collabは「イメージ・メイキング」「イメージ」「今」に由来し、コラボレーションによって、次世代の演劇人を育成することに重きを置きながら、世界各地で公演を行っている。

Founded in 2022 by director Chan Chu-Hei, based in Hong Kong, China, Ima Collab derives from the words "image-making," "image," and "now, the company performs around the world with an emphasis on training the next generation of theater professionals through collaboration.

イマ・コラボ・Ima Collab



ルーカス・カンネマン・Lukas Kannemann

ドイツ・ハンブルグ出身。ミニマルな音の試みを通して、その場での即興演奏を探求し、(非)空間とその住人をつなぎ、トランス状態を呼び起こし、聴く者をつかの間の至福への旅へと導く実験的なマルチ・インストゥルメンタリストである。

Lukas Kannemann is an experimental multi-instrumentalist exploring in-situ improvisations to connect (non) spaces and their occupants through minimalistic sonic endeavours, evoking a trance-like state and guiding listeners on a multifaceted journey toward fleeting bliss.



李洁・Jie Li

心理と現実と自然の間にあるコンセプチュアルな風景画を制作している。中国美術学院とミュンヘン美術学院で学び、中国、ヨーロッパ、日本を旅して美術館を訪れ、東西の絵画の伝統と文化を体験し、新たな考察を生み出している。

Jie Li works with conceptual landscape paintings between psychological and the real nature, she studied in China Academy of Art and Academy of Fine Arts Munich, travels between China, Europe and Japan to visit museums, experience both East and West painting tradition in the culture and mean to create her new reflection.



EBC-223 EXPANSIVE BONELESS COLLECTIVE

フランス・トゥールーズを拠点に活動するチリ人アーティスト、フランシスカ・アルメンドラとヘルマン・カロ・ラーセンが、EBC-223を共同設立。空中芸術、リギング、ハンド・トゥ・ハンド・サーカス、実験音楽、サウンド・アート、技術指導など、それぞれの活動は多岐にわたり、革新的でハイブリッドな舞台言語を用いた身体的なパフォーマンスと共同創作を融合させている。

2. Based in Toulouse, Chilean artists Francisca Almendra and Germán Caro Larsen co-founded EBC-223. Their individual practices span aerial arts, rigging, hand-to-hand circus, experimental music, sound art, and technical direction, blending physical performance with innovative, hybrid stage languages and collaborative creation.

HARAIZUMI ART DAYS!

「原泉アートデイズ！」は、さまざまなアーティストによる「作品展示とパフォーマンス」、作品や各種グッズを販売する「アートのストア」、アーティストと触れ合い学ぶ「イベント & ワークショップ」からなる地域と一体となった複合的な現代アート展覧会です。

HARAIZUMI Artist In Residence

HARAIZUMI AIR (原泉アーティスト・イン・レジデンス) は、2018年よりスタートした静岡県掛川市原泉地区におけるアーティストの滞在制作支援プログラムです。国内外のアーティストたちが、一定期間以上地域内に滞在し、コミュニティやアーティスト、異文化との交流の中で学びを得て、その過程において、制作人生に大きく影響を与えるような体験をしています。HARAIZUMI AIRを体験したアーティスト達は、展覧会「原泉アートデイズ！」にて成果発表をしています。

●「原泉アートデイズ！」へ参加ご希望の方は、期間中に、まずは受付までお越しください。受付後は自由に作品の観覧ができます。●期間中、観覧者の不注意等による、移動中や展示会場内での事故等については、主催者は一切の責任は負いません。あらかじめご了承ください。●プログラムの内容は、天候や社会情勢に応じて、開催内容の変更をすることがあります。変更等のお知らせは、web サイトや SNS などのオンライン上での告知となりますので、必ず情報をご確認の上、ご来場ください。

Events イベント

申込不要

入場無料

終了後、アーティストトーク(20分程度)を予定しています。

PERFORMANCE & SHOW パフォーマンス

Makoto Matsushima & Ima Collab

(松島誠と香港の若手俳優たちとのコラボ企画)

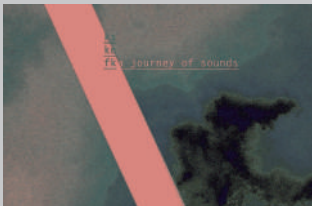


香港で出会ったパフォーマーたちとの第2章。原泉での新たな挑戦！

2024年、香港から来た Ima Collab の若いアーティストたちとの初の滞在制作を行った。彼らにとって原泉での生活は非日常だった。しかし徐々に、滞在アーティストたち、地域の方々との日々の触れあいと交感の中で日常になっていく。体験自体が「鏡」になって僕たちを見直し、また作品世界の非日常に踏み込んでいく。原泉という「場」とのやりとり。自分一人では見つけられなかった気づき。これがコラボレーション、収穫。2025. またゼロから、何も無いところから。今年は何が生まれるのだろうか。(演出家／松島誠)

2025.11.8.[土] & 9.[日] ①11:30~ ②15:30~ ※公演時間30分程度。

※公演会場は、受付にてご確認ください。(移動に時間がかかる可能性がございますので、時間には余裕を持ってお越しください)



旅の音 journey of sounds

ルーカス・カンネマンは、音の旅路において、即興演奏で披露する音響素材を絶えず収集している。周囲の環境とそこに存在する者たちとの即興的な場での結びつきに焦点を当て、素材や楽器、拾い集めた物体を用いて唯一無二の出来事を創出する。原泉では、この旅路の、極めて特別で個人的な一幕が披露される。アーティストは、まだ制作半ばのインスタレーションの中で演奏する機会を得るからだ。

2025.11.15.[土] 14:00-

ルーカス・カンネマン LUKAS KANNEMAN

●会場：昌光寺



イグネオ IGNEO

このパフォーマンスは、溶融し、冷却し、形成される天然のマグマのようだ。原泉で生まれ、完璧を拒み、リスクを選ぶ。アナログの機械と私たちの身体で、不安定な音、感情、存在を探し求める。コントロールなし。マスクなし。何も隠さない。創造への、ありえないことへの、ノイズへの、生々しい讃美歌である。肉体と信号の壊れやすい構造。緊張、リズム、呼吸のミックス。混沌を通して意味を見出そうとする一あるいは単純にそれを祝福する、真正面からの試みである。

2025.11.16.[日] 14:00-

EBC-223 EXPANSIVE BONELESS COLLECTIVE

●会場：旧原泉第2製茶工場

Workshops ワークショップ

要事前申込

Resonant Stillness Labo

フランスの音楽家と一緒に、新しい音の体験をしよう！
～共振する静寂ワークショップ～

2025.11.22.[土]
13:00-16:00

●場所：旧原泉第2製茶工場

※会場の詳細は、直前に参加者にお知らせいたします。

●対象：大人(高校生以上)

●定員：先着 10 名(事前申込制)

●費用：2,000 円

●講師：EBC-223 EXPANSIVE BONELESS COLLECTIVE



EBC-223 による「原泉アートデイズ! 2025」開催期間中の1日クリエイティブ・ワークショップです。この包括的なセッションは、電子音響の実験、身体表現、動きをベースとしたセッションのつながりを探索します。リサイクル素材と生の音を操り、参加者は振動、呼吸、共鳴を通して身体の内存在を活性化させる実践的な練習に取り組みます。新しい感じ方、動き方、響き方を発見することに興味のある方ならどなたでも参加できます。【共催】(公財)掛川市文化財団、掛川市

ご予約



- 野々上聡人による家型彫刻 -

ガイド付き特別作品鑑賞ツアー&トークイベント

2025.11.23.[日]
14:00-15:00

●場所：旧原泉第2製茶工場

※原泉アートデイズ! 2025 受付会場と同じ建物内

●対象：どなたでも

●定員：先着 10 名(事前申込制)

●費用：ドネーション制

●講師：野々上 聡人 Akihito Nonowe

野々上聡人発足による50年計画、家型彫刻「野暮」。2年前、野々上聡人・秋山佑太・有間絵華・弓場勇作により始動し、ランドハウの廃茶工場にワニをあしらったコンクリート製の柱が立てられる、以降野々上が現場に住みながら築城が続いている。まだ始まったばかりの大きな計画の、中途報告鑑賞会第一弾。野々上によるガイド付き鑑賞、解説、トークショー等

ご予約

